

▶授業の目的と概要

【目的】古文書解読A 1を受講して「くずし字」の基礎的な解読能力が身に付いた者を主な対象として、さらなる解読力の向上を目的として開講する。

【概要】古文書の画像をテキストとして「くずし字」解読のトレーニングを行うと共に、古文書や日本史に関する一定程度専門的な知識を習得する。

古文書の画像をテキストとして配布し、解読の方法を実践的に学習する。具体的には、解読を行う箇所をあらかじめ指示するので、受講者は予習してきた内容に基づいて解読文を順番に板書する。教員が添削した上で、解読文についてのディスカッションと内容の解説を行う。こうした輪読形式でテキストを読み進めることを通じて、「くずし字」の基礎的な解読能力を身に付ける。

担当教員	経済学部 青柳 周一 教授
開講曜限	火曜日 2限 (10:30~12:00)
開講日	10月 3, 10, 17, 24, 31
	11月 7, 14, 21, 28
	12月 5, 12, 19
	1月 9, 16, 23
参考書情報 (補足)	<参考書>
	※ 必ず購入すること。 「くずし字解読辞典 普及版」／ 児玉幸多著、東京堂出版、1993
<補足情報>	<補足情報>
	より詳しく古文書を学習したい場合は、『くずし字用例辞典』がある。 その他、古文書の内容と関わる歴史的な事項については『国史大事典』ほか歴史辞書類を参照。

※授業は対面で実施するが、新型コロナウイルス感染拡大状況によっては対面を取りやめ、オンラインのみとする場合がある。その際は、SUCCESSなどを通じて早めに周知する。